

授業概要

幼稚園、保育所、認定こども園においてこれからの社会を担う個々の子どもの持つ能力を伸ばすために保育をどのように展開して行ったら良いのか。保育についての基本的な考え方を学ぶと同時に、基本的な方法・技術（情報機器及び教材の活用を含む）・教材の活用方法についての基礎的な知識・技能を身につける。

授業計画

第 1 回	幼稚園、保育園での子どもの生活の様子を知ろう
第 2 回	乳幼児期の発達の特徴と発達の变化：誕生から乳幼児期まで
第 3 回	保育形態の種類とその意味
第 4 回	園内の環境構成について
第 5 回	幼児期の遊びの特徴と発達の意義
第 6 回	遊びと子どもの成長(1)：0 歳児 へのかかわり
第 7 回	遊びと子どもの成長(2)：1 歳児～2 歳児 へのかかわり
第 8 回	遊びと子どもの成長(3)：3 歳児～5 歳児 へのかかわり
第 9 回	家庭との連携 (1)：その必要性 小1 プロブレムの視点から
第 10 回	家庭との連携 (2)：父親の子育て参加と子どもの発達への影響
第 11 回	家庭との連携 (3)：父親と母親の夫婦関係と家庭環境に基づく子どもの発達への影響
第 12 回	地域・小学校との連携と保育
第 13 回	園における指導計画について(1)：①教育課程と指導計画の関係 ②作成上の留意点
第 14 回	園における指導計画について(2)：一日の生活の指導案作成
第 15 回	保育における情報機器の利用と効果
第 16 回	定期試験

到達目標

- ①これからの社会を担う子どもたちに求められる資質・能力を育成するために必要な教育の方法を理解する。
- ②教育の目的に適した指導技術を理解し、身につける。
- ③情報機器を活用した効果的な授業や情報活用能力の育成を視野に入れた適切な教材の作成・活用に関する基礎的な能力を身につける。

履修上の注意

- ①私語などは慎むこと。
- ②毎回出席を取るなので休まないこと。
- ③授業には積極的に参加すること。授業中は質問していくので積極的に発言するように心掛けること。
- ④内容によっては授業の中で小テストを行う。

予習・復習

各回の授業については事前に目を通し調べておくこと。授業の内容によっては、予習・復習をかねてレポートを課すことがある。

評価方法

定期試験 50%、レポート 30%、受講態度 20%に基づき評価する。

テキスト

授業は資料の配付、DVD による理解を図りながら進める。また、関連する図書は適宜紹介する。